予防接種について

日本の予防接種制度は、時代によってさまざまな変化があり、ここ数年間においても、以下のように制度が改正されています。

定期の予防接種

定期の予防接種とは、感染症の予防・症状の軽減・まん延防止などを目的として、予防接種法に定められており、市町村が行うものです。

○ポリオワクチンの接種方法が変わりました。

安全性の高い不活化ワクチンが採用されたことにより、接種方法が次のとおり変更になりました。

	平成24年8月まで	平成24年9月から	平成24年11月から
ポリオ	生ワクチン（経口接種）	不活化ワクチン（皮下接種）	4種混合ワクチン （皮下接種）
ジフテリア	3種混合ワクチン（皮下接種）		
百日咳			
破傷風			

○BCGの接種時期が変わりました。

対象月齢が1歳までとなり、生後5～8か月で受けるようになりました。

○定期の予防接種に新たな項目が加わりました。

平成25年4月1日からは、Hib（ヒブ）感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）が、予防接種法に定められた定期の予防接種に加わりました。

子宮頸がん予防ワクチンは積極的な勧奨をしていません

ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）の予防接種については、今年の4月に定期の予防接種項目に加わりましたが、予防接種を受けた後の副反応、健康被害と思われる症例が、医療機関から厚生労働省に報告されているため、現在は積極的な勧奨をしていません。

※65歳以上の方を対象に行っているインフルエンザの予防接種も定期接種に含まれますが、希望者のみに実施します。

○日本脳炎2期の予防接種が始まりました。

日本脳炎の予防接種は、平成17年5月に重症の健康被害が発生したため積極的な勧奨を控えていましたが、安全性の高いワクチンが開発され、平成22年7月から再開されました。

この間、受けられなかった方を対象に順次、日本脳炎1期（初回3回）の接種を進めてきましたが、1期の接種が終了したことから、2期の接種を今年から再開できることになりました。

2期の追加接種は本来、9歳～10歳（小学4年生）で受けるものですが、現在の高校3年生以下が受けていないので、この世代に対して順次行っていく予定です。

なお、対象となる方に対しては、個別通知を送付します。

乳幼児期に受ける定期の予防接種	
予防接種の名称	接種時期
BCG (1回)	生後5～8か月
4種混合 (4回)	生後3か月～2歳6か月頃まで
麻疹風疹 混合(2回)	1期 1歳以上2歳未満 2期 5歳以上7歳未満
Hib感染症 (原則4回)	生後2か月～7か月未満で接種を開始する場合 1期 4～8週間隔で3回 追加 1期終了後7～13か月の間に1回
肺炎球菌 感染症 (原則4回)	生後2か月～7か月未満で接種を開始する場合 1期 27日以上の間隔で3回 (1歳未満までに完了する) 追加 1期と60日以上の間隔を空けて 1歳～1歳3か月の間に1回
日本脳炎 (3回)	3歳を過ぎたら 初回 6～28日までの間隔をおいて2回 追加 初回接種からおおむね1年後に1回

任意の予防接種

予防接種法の対象とはなっていませんが、任意で受けることができる予防接種に次のようなものがあります。任意接種は医師とよく相談したうえで判断し、行ってください。

- ・おたふくかぜ
- ・水痘（水ぼうそう）
- ・B型肝炎
- ・ロタウイルス
- ・季節性インフルエンザ（高齢者以外）
- ・肺炎球菌（小児以外） など

※任意の予防接種は、病気の発症や重症化を予防するために受ける人が増えています。（公費助成は市町村により異なります。城里町では、小学6年生までの季節性インフルエンザの予防接種に対して助成を行っています。）

○大人の風疹予防接種の公費助成を行っています

その時々々の病気の流行によって、臨時的に予防接種を勧奨する場合があります。昨年度から流行している風疹の予防接種もこの一例です。

風疹ってどんな病気ですか？

風疹は風疹ウイルスの飛沫感染で起こります。潜伏期間は2～3週間で、軽い風邪のような症状、発疹、発熱等です。3日間で治るので「三日ばしか」と呼ばれることもあります。

合併症として関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが起こることもあり、妊婦が妊娠初期にかかると、先天性風疹症候群とよばれる病気により、心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った子が生まれる可能性が高くなります。このため、妊娠している方のご家族や、これから妊娠を希望するご夫婦で、風疹の予防接種を受けていない方に積極的に受けていただくこと、町では費用の一部助成を行っています。詳しくは健康福祉課へお問い合わせください。

問合せ 健康福祉課（常北保健福祉センター内） ☎029-240-6550

「うちエコ診断」参加家庭募集

～あなたのおうちに合った

「省エネ対策」を提案します～

茨城県では、家庭における省エネの取り組みを支援するため、希望世帯に「うちエコ診断事業」を実施しています。

うちエコ診断とは？ 家庭のエネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、各家庭のライフスタイルに合わせて無駄なくできる省エネ対策を提案します。

申込方法 役場町民課に備え付けの申込書（茨城県地球温暖化防止活動推進センターのホームページからダウンロードも可）に必要な事項を記入し、申し込んでください。診断料は無料です。（診断期間／平成25年12月まで）

※詳細は、茨城県地球温暖化防止活動推進センターホームページ（<http://www.kankyoKanri.or.jp/cei/>）をご覧ください。

申込先・問合せ

茨城県地球温暖化防止活動推進センター
（〒310-0836 水戸市元吉田町1736-20）
☎029-248-7431

平成26年度 茨城県立農業大学校学生募集

■募集人員等

区分	募集人数	修業年数
①	農学科	2年
	畜産学科	
	園芸学科	
②	研究科	2年

■受験資格

- ①高校等を卒業した者、または平成26年3月に卒業もしくは修了見込みの者
- ②農業大学校卒または短大等卒（見込み含む）

■願書受付

区分	願書受付期間	試験日
一般	前期 12月11日(水)～1月10日(金)	平成26年2月4日(火)
	後期 平成26年2月7日(金)～2月26日(水)	平成26年3月5日(水)
研究科	10月1日(火)～10月16日(水)	10月25日(金)

■選抜方法

筆記試験、口述試験（個別面接）
※詳細については、茨城県立農業大学校ホームページ（<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nodai/>）をご覧ください。

問合せ 茨城県立農業大学校 入試事務局
☎029-292-0010